

福島退公連 会報

発行日 令和8年(2026年)2月20日
 発行者 室井 勝
 発行所 福島県退職公務員連盟
 〒960-8043 福島市中町5-21(消防会館)
 TEL・FAX 024(522)0612
 URL <https://fukushima-taikouren.com>



令和7年度日公連全国大会が開催されました

＜日時＞令和7年11月14日(金)午後1時～ ＜場所＞東京都 文教シビックホール

日公連全国大会が開催され、本県からは室井 勝会長をはじめ草野義教副会長(いわき支部長)、青津伸一西会津支部事務局長、星 文人南会津支部長、大橋茂信事務局長、高橋賢司広報部長、高橋幸子理事の7名が参加しました。

大会では、鴨下一郎会長から「会員の方々が自らの使命感をもたれ、尊敬され、地域で当てにされる古くて新しい組織、会員であるから安心であるという実感があふれる組織にしたい」との所信表明があり、続いて来賓を代表して村上誠一郎前総務大臣より祝辞がありました。他にもたくさんの議員の方々に参加していただきました。

組織表彰では努力賞の特別枠で、前年より会員が増加した支部(全国で15府県45支部)が受賞しました。

記念講演では、「人生100年時代を健幸に過ごすコツ」の演題で筑波大学人間総合科学学術院教授・医学博士の久野譜也先生が、100歳まで元気に過ごすためには、筋肉と動脈が大切で、筋トレと有酸素運動が有効であるというお話をされました。

最後に、日公連の副会長として、室井会長が閉会のことばを述べました。

大会に出席された本県選出の星 北斗参議院議員と齋藤裕喜衆議院議員に対して、直接要望活動を行いました。



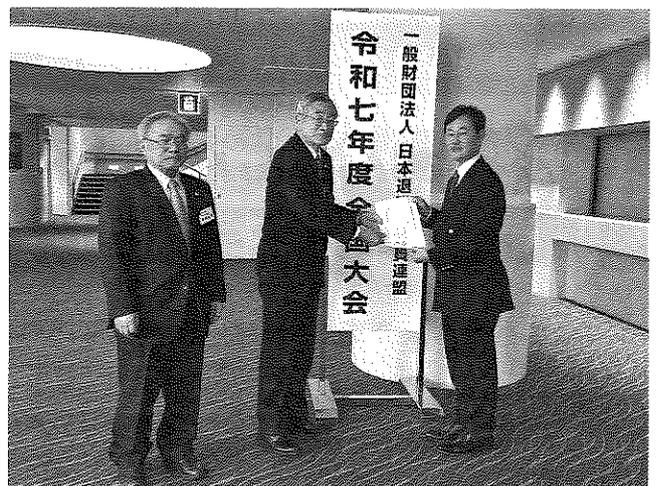
県退公連参加者



「閉会のことば」を述べる室井会長



星議員に要望

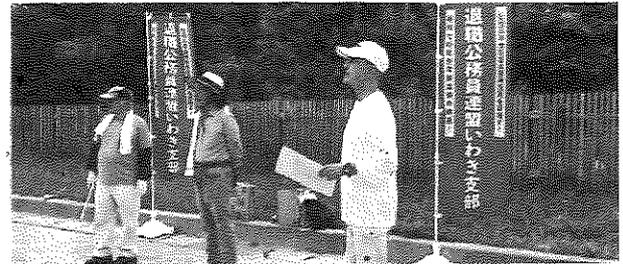


齋藤議員に要望

支部活動の紹介 退公連ホームページより

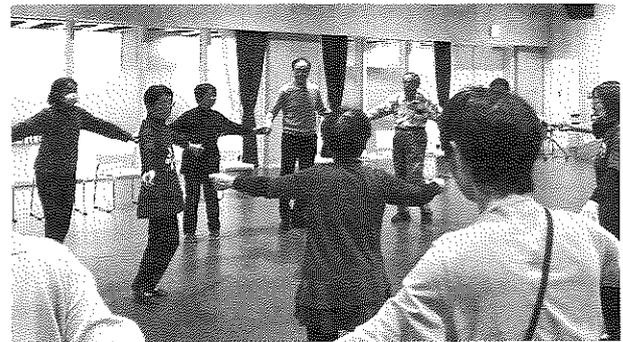
「いわきの海をきれいに！」 (いわき支部)

いわき支部では昨年度に引き続き、7月2日に四倉海岸で会員23名が参加し、奉仕活動を実施しました。会場には、いわき支部ののぼり旗を掲げました。猛暑の中での作業となり、開催時期が課題となりました。



「心と身体をリフレッシュ」 (福島支部)

福島支部では11月27日(木)午後1時30分より福島市民センターにて秋の女性部主催研修会を開催いたしました。男性2名、安達支部会員3名が参加し、総勢21名での研修会でした。体を動かすと共に脳の活性化を図る内容でしたので、心と身体をリフレッシュしていただけたと思います。



「ほっと一息コーヒーの淹れ方教室」 (伊達支部)

伊達支部では、11月12日開所2年目の「おでのりきてみ～な」で福祉部、女性部合同研修会を開催しました。15名のコーヒー好きが参加しました。



その他各支部で様々な取組みが行われています。県退公連ホームページをご覧ください。

福島県退職公務員連盟の会員様 お気軽にいつでもご連絡ください

 あんしんパレット
しっかり充実医療

がんを経験された
あなたによりそう
がん保険
ミライト

〈お気軽に下記代理店へお問い合わせください〉

<取扱代理店>

三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社
東京都千代田区神田錦町3-11-1

<引受保険会社>

アフラック 法人第一営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1丸の内センタービル 19F
TEL 03-3344-1446



0120-357-212

(平日9~20時、土日祝9~17時)

その“わ”

「会員の確保と勧誘のための支部の取り組みと現状について」



今やどの団体でも、それを構成する会員不足や高齢化、そして役員の成り手不足が深刻な課題となっている。私の場合も町内会の区長を6年続けており、退公連支部でも事務局長の他に広報部の副部長を兼ねている。

そういう役員は他にもいる。そんな中で、耶麻支部でも退公連への新入会員の勧誘と現会員の保留のためにいくつか努力し、そして推進してきた。

まずそのひとつとして、地区の広報誌の年間2回の定期的な発行(9月と2月)を行っている。(県のホームページに掲載されている)

支部の活動の様子や概況を知ってもらう上での重要な広報部の実践で、会員として所属していても、高齢や健康上の理由などから中々退公連の行事や活動に参加できない人もいるので、「知ってもらわないと始まらない」との危機感から、寄稿者をできるだけ偏らないようにして発行し、会員や学校だけでなく

耶麻支部 事務局長 青山邦夫

公民館や図書館にも置いてもらって周知を図っている。

次は、毎年、会員に好評な7月中旬の「絵手紙を描く会」で作成した暑中見舞いの葉書を発行している。

女性部の担当で、参加するのも女性が多いが、教育現場で培った技法や趣味が生かされている。私も事務局として参加しているが、会員に配るには稚拙な描写だったため数枚しか採用されなかった。

年金部としては、毎年夏の「年金研修会」に参加を募って、会津の6支部が協力して研修を深めている。今年度は会津若松市地域教育コーディネーターの成田正良氏の講話を兼ねた「ワンマンショー」で盛り上がり、「退公連」という堅いイメージも払拭された。

耶麻支部としてここ数年力を入れている行事が「紅葉を観る会」(10月)で、昼食会を兼ねながら、俳句や川柳といった文化的な発表も行った。

会員が気負わずに仲間づくりをしている。

支部
これから

「支部活動を通して思うこと」



西会津支部の庶務になって二期4年目が終わろうとしている。前任の方が急逝したためほとんどゼロからのスタートだった。1年目は暗中模索で支部長さんなどに助けられて何とか役目をこなすことができた。4年目の今は活動の流れもわかり自分なりの色付けも出来るようになってきたように思う。

西会津支部の現状は令和元年度には会員113名だったが今年度は82名で31名の減少となっている。また会員の44%が80歳以上である。会員数の減少と高齢化はどの支部も同じだろうと思う。そんな中、庶務として力を入れているのは会員同士の交流を盛んにすることと連盟への所属感の高揚である。「退職公務員連盟に入っていて良かった」と思ってもらえるようにすることである。

西会津支部の現状は令和元年度には会員113名だったが今年度は82名で31名の減少となっている。また会員の44%が80歳以上である。会員数の減少と高齢化はどの支部も同じだろうと思う。そんな中、庶務として力を入れているのは会員同士の交流を盛んにすることと連盟への所属感の高揚である。「退職公務員連盟に入っていて良かった」と思ってもらえるようにすることである。

西会津支部 事務局長 青津伸一

そのために秋の親睦研修会では楽しい企画を考え楽しんでもらっている。今年は雨天のためパークゴルフが中止になり急遽ジャンケン大会団体戦を行った。だれでもできるジャンケンで1時間近く盛り上がった。また宴会では必ず一人ずつ近況報告をしてもらい人前で話す機会を設けている。話すことは脳の活性化にもつながり元気も出てくるようだ。

2月の新春祝賀会では、昨年度から会員の方に「民話語り」「オカリナ演奏」を披露してもらうようにした。会員の方が町のクラブなどで活動しているのを知り依頼をしたものだ。今年度はさらに合唱を入れようと企画した。楽しみである。もちろん近況報告もある。

このように今までの活動に少しアクセントを加え、退職公務員連盟は楽しいなと思ってもらえたらと願っている。そのために庶務として力を尽くしたいと思う。

<年金情報コーナー>

遺族厚生年金は死亡した者の老齢厚生年金の4分の3が上限

家族が亡くなったときに、遺族の生活の安定のために支給されるのが、遺族年金です。遺族年金には「遺族基礎年金」と「遺族厚生年金」があり、それぞれ支給要件が異なります。

ここでは、「老齢厚生年金を受ける権利がある65歳以上の人」が「配偶者の死亡による遺族厚生年金を受け取る場合」です。以下、厚生労働省の資料。

次の(1)と(2)の額を比較し、高い方の年金額を受け取ることになります。

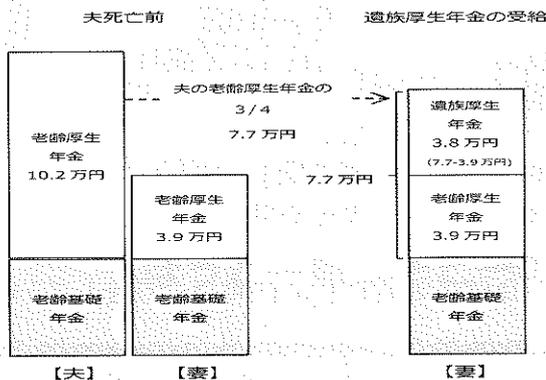
- (1) 「死亡した配偶者の老齢厚生年金の4分の3」
- (2) 「死亡した配偶者の老齢厚生年金の2分の1」と「本人の老齢厚生年金(子の加給年金額を除く)の額の2分の1」を合計した額

実際に年金を受け取る際には、上記の計算方法で決まった年金額と本人の老齢厚生年金の満額との差額が遺族厚生年金として支給されます。

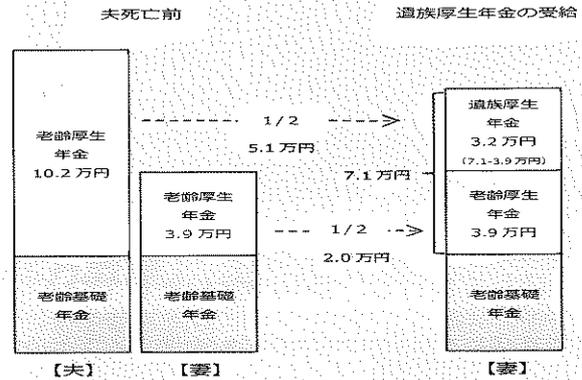
【イメージ図：夫の老齢厚生年金は10.2万円、妻の老齢厚生年金は3.9万円で夫が死亡した場合】

この場合、(1)の計算では、年金額7.7万円、(2)の計算では、年金額7.1万円となり、年金額の高い(1)の方法で併給することになります。

(1)の計算方法



(2)の計算方法



+++++【事務局だより】+++++

福島県立武道館建設要望の署名活動ありがとうございました。

退公連は関係団体と一緒に、これまでも県に対しての要望活動に参画してきました。今年度はさらに署名活動を実施することとなり、各支部に取り組んでいただきました。

この結果、いわき支部で133名、福島支部で76名、双葉支部でも30名など全体で450名の署名を集めていただき、福島県武道協議会

へ提出しました。

◎今後の予定

- 3月13日(金) 第2回理事会
- 4月13日(月) 令和8年度評議員会
場 所 郡山市 ビッグパレット
- 5月13日(水) 令和8年度支部連絡会議
場 所 郡山市 ビッグパレット

編集後記

令和7年度最終となる217号をお届けします。会員皆様のご協力によりまして計画通りに発行することができました。心より感謝申し上げます。

各支部とも年度を通して、会員同士の交流を深めたり、新しい会員を勧誘したりするための独自の活動に取り組んでいただき、誠にありがとうございました。

《百歳万歳》

ご長寿おめでとうございます。
百歳賀寿を受けられた方です。

〔伊達支部〕 菅野賢次様
大正14年7月9日生まれ

〔伊達支部〕 宍戸成男様
大正14年12月27日生まれ